

# 令和7年度 町政執行方針

## 『「新しい時代を新たな選択で」～New Breeze～』

令和5年3月の町長就任以来2年がたち任期の折り返しを迎えましたが、町民および議員の皆さまと共に議論と対話を通じて、町政に臨む基本姿勢であります「共感ひろがる信頼のまちづくり」に一貫して傾注してまいりました。今後ともその姿勢は変わることなく、町民の皆さまが幸せを実感できるまちの実現に向け、議論と対話を重ねることで、さらなる共感、信頼を深めていく考えであります。



大塩英男町長

令和7年度においては5月に新病院の開院を控えており、病院運営に真摯（しんし）に取り組むとともに、本町が持つ歴史や地域資源を最大限に生かしながら、新しい風を取り入れ、魅力あふれる「ふるさと白老」を、持続可能なまちとして未来へと引き継ぐ新たな一步を、力強く踏み出す決意であります。

この決意の下、今年度のテーマを『「新しい時代を新たな選択で」～New Breeze～』とし、人口減少や少子高齢化、人材不足による地域力・組織力の低下、公共施設の老朽化など、本町が直面する多様な課題に対し、新たな視点も取り入れた責任ある選択を行うことで、消滅可能性都市からの脱却と持続可能な地域社会を実現し、未来を担う次世代にこのまちをより良い姿で引き継いでいける取り組みを進めてまいります。

### 1. 『「選ばれるまち」の推進』

持続可能なまちづくりのためには、年齢層のバランスを適正に保ちつつ、人口の規模を維持していくことが重要であるため、若年層の移住・定住対策や地域を支える人材確保のほか、安心して子どもを産み育てられる環境整備、インバウンドの増加を見据えた取り組みなどにより、人の流れを呼び込み、「選ばれるまち」の実現を目指してまいります。

消滅可能性都市脱却のカギとなる若年層の定住促進策として、住宅取得を支援する定住促進若年層住宅取得支援事業を新たに実施するほか、高齢化が進む本町において日々の暮らしを支える福祉人材の確保や事業所を支援する未来につなぐ福祉人材応援事業や企業誘致状況調査事業、奨学金の返還支援などにより、外国人労働者や女性などの多様な人材が活躍できる環境づくりと雇用の創出に取り組んでまいります。

安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、高校生までを対象とした子ども医療費助成事業や主食費まで拡大した保護者負担補助事業、学校給食費無償化事業などの経済的負担軽減策のほか、産婦健診・産後ケア事業、5歳児健康診査事業、小中学校熱中症対策事業、大学生等通学費助成事業など、切れ目のない支援を継続してまいります。